



Kaji Junior high school times

梶中学校通信

—JUMP—

飛翔

発行：大阪府守口市立梶中学校

校長 丸山 宗久

☎06-6902-0813 ☎06-6907-2669

〒570-0015大阪府守口市梶町4-28-5



11.8(土) 藤田小学校：第54回運動会

～元氣一杯！藤田小学校の児童達が活躍～



→標記日程で、「藤田小学校：第54回運動会」が会場の藤田小学校運動場で開催。約3週間という時間を費やした練習成果を1～6年迄の児童達が披露してくれました。晴天の下、児童達の掛け声と歓声。そして応援が響きました。

【有終の美を飾った6年生達の装現】→当日は雨天の心配もありましたが、児童達の熱気で晴天を引き寄せました。徒競走を中心に、児童達が運動場を縦横無尽に駆け抜けます。初めての運動会となる1年生児童の玉入れの前で魅せたダンスでの、「ピカピカの1年生」のフレーズでの決めポーズの可愛い事。そして圧巻はこれが最後の運動会となる6年生による「南中ソーラン」。各自名前の一文字を染め抜いた長半纏を翻し、躍動感溢れる舞で観客を魅了。文字通り「有終の美」を見事に飾ったラストとなりました。

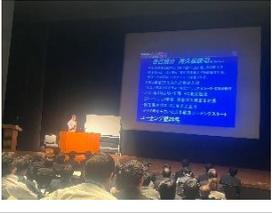


10.31(金) 大阪府小中生指協：中央研究発表大会

～大阪府内の生活指導担当者が参集～

→標記日程で、今年度「大阪府公立小中学校生活指導研究会：中央研究発表大会」が、会場の吹田市・メイシアターで開催。大阪府内公立小・中学校生活指導担当者が参集。多くの先生方が共に研鑽に努めました。

【コーチングの効果】→講演では「木の上に乗って見ましよう」とのテーマで東京ガス星光会会長：阿久根謙司氏による「コーチング論」を学びました。「ティーチング」でなく何故「コーチング」か。結果的に自分で理解する事が重要でそれが自立につながる。との理論を御自身が高校野球で甲子園出場を果たした経験を交えつつ詳細に展開しました。



11.4(火) 第三学年：第4回実力テスト

～自分の今の学力を知る～

→標記日程で、第三学年が「第4回実力テスト」に臨みました。進路懇談を控えている事もあり、自ずとその準備にも気が入り、受験生としての自覚が周囲にも感じられます。

【実戦的なテストに挑む】→至極当然の事ではありますが、実力テストは定期考査とは異なり、事前に範囲が示されるものではありません。特に高校入試という視点で考えると実力テストは「実戦的」と言えます。それだけに中々手強く、努力が即結果に出難いため、苦戦している生徒達も多い様子です。しかし、苦しい思いは全ての受験生が同じ思いをしていると言う事。焦る事なく、コツコツと努力を積み重ねてください。自分の親も、そして先生方も、同じ道を通って来た経験者なのです。





11.15(土) 梶小学校：第57回運動会

～元気が弾ける！未来の梶中生達！～



→標記日程で、「梶小学校：第57回運動会」が、会場の梶小学校運動場において開催されました。当日は多くの保護者や来賓が来校し、秋の一時、児童達が繰り広げる競技と演技に魅了され、そして大きな拍手と歓声が響き渡りました。

【全ての学年で装苑活動】 →開催一週間前は台風26号の影響で若干雨天の心配もありましたが、その心配も杞憂に終わり、秋らしい天候の下で、梶小学校の児童達が会場の運動場を一杯に使って競技に、そして演技に全力で臨みました。競技では転倒しても最後まで諦めず走り続ける姿に、会場から大きな声援が送られました。梶小学校では全ての学年で表現活動(団体演技)を導入。6種類のパフォーマンスに会場が酔いしれました。



11.5(水) 守教研：問題別研究集会

～梶中学校も会場の一つに～

→月定例で実施されている守口市教育研究会(通称：守教研)で、毎年この時期に課題を取り上げ、その課題解決のための研究を発表する「守教研：問題別研究集会」が標記日程で開催されました。会場は4つのブロックに分かれ、その一つが今回梶中学校となり、当日市内広域から大勢の先生方が梶中学校に参集。研鑽に励みました。

【学校は違っても課題は共通】 →4つのブロックで発表された課題は、概ねどの学校においても共通している部分が多いものです。4ブロックの発表結果を各々持ち帰り、各校にて活用していきたいと思えます。



11.7(金) 二年次経験者研修：研究従業(社会科)

～東京大都市圏の課題を考える～

→標記日程で、本市採用二年目となる教諭が「経験者研修(二年次)：研究授業(社会科)」を実施しました。当日は指導助言のため守口市教育委員会指導主事が来校され、授業を詳細に参観。その後個別に御指導を頂きました。

【タブレットでAIを活用した授業】 →授業においては、「ニュータウン」「政令指定都市」等のキーワードを提示され、大都市圏の課題を考える上でタブレットを活用して検索していく生徒達の真剣な姿がありました。二年目となる当該教員の指導スキルも確実に向上。先生も生徒も今後に楽しみとなる研究授業でした。



季節は秋から冬へ →10月に入っても異常とも言える暑さが続いていましたが、確実に秋は到来。漸く過ごし易さを感じ始めたのも束の間、急に朝晩の冷え込みが強くなり、冬を感じる11月後半。四季の中で最も長く、そして厳しい季節の到来です。インフルエンザ等々、感染症の配慮も、特に受験を控える第三学年の生徒達には必至の季節になって参りました。しかし、冬を乗り越えれば又暖かい春がやってきます。その春を待ち望みながら、「冬支度」に入りましょう。